

授業科目名	スポーツ史特殊研究演習		授業形態	演習	授業科目区分	専門科目 (スポーツ文化・社会科学)
担当教員名	山田 理恵				補助担当者名	
単位数	2 単位		履修年次	-	受け入れ人数	-
授業の概要 及び達成目標	スポーツは、各時代、各社会において人間にどのようにに関わり、どのような意味をもってきたのか、というようにスポーツを歴史的に論じることによって、現代の日本におけるスポーツに関する諸問題を検討し21世紀における望ましいスポーツの在り方を考究するうえでの有効な資料や手がかりを得ることができる。演習形式で行われる本授業では、スポーツ史研究における現状と課題について考察し、関連する国内外の著名な文献を講読しながら問題の所在や理論的展開について検討するとともに、問題の設定や研究計画、史料の収集と吟味、叙述の進め方など、スポーツ史研究の方法を修得する。					
成績評価の方法	□学期末試験の成績（％） ■出席状況（30％） ■授業への取り組み状況（40％） ■レポート等の提出状況（30％） を総合的に評価する。					
成績評価の基準	随時実施する論述試験や課題の成績、授業に対する積極的な取り組み方等を総合的に評価する。					
テキスト、教材 参 考 書	国内外の著名な文献を適宜用い、必要に応じて資料を配付する。また、参考書は適宜紹介する。					
履修条件・ 関連科目	「スポーツ史特殊研究」と併せて履修することが望ましい。		備考(教員メッセージ含む)			
オフィス・アワー	随時（705研究室）					
授業計画						
回	担当教員名	授業内容			授業時間外の指導等 (予習、復習、レポート等課題の指示)	
1	山田 理恵	スポーツ史研究の現状と課題			参考書・資料等の復習および予習	
2	〃	日本のスポーツ史研究に関連する学術書・学術論文の講読・討論			参考書・資料等の復習および予習	
3	〃	日本のスポーツ史研究に関連する学術書・学術論文の講読・討論			参考書・資料等の復習および予習	
4	〃	外国のスポーツ史研究に関連する学術書・学術論文の講読・討論			参考書・資料等の復習および予習	
5	〃	外国のスポーツ史研究に関連する学術書・学術論文の講読・討論			参考書・資料等の復習および予習	
6	〃	問題の設定と研究計画			参考書・資料等の復習および予習	
7	〃	先行研究の検討			参考書・資料等の復習および予習	
8	〃	史料の所在と収集の方法			参考書・資料等の復習および予習	
9	〃	日本語文献・史料の調査・収集			参考書・資料等の復習および予習	
10	〃	外国語文献・史料の調査・収集			参考書・資料等の復習および予習	
11	〃	収集史料の整理と吟味			参考書・資料等の復習および予習	
12	〃	叙述の方法と展開			参考書・資料等の復習および予習	
13	〃	研究実践のプレゼンテーション			参考書・資料等の復習および予習	
14	〃	研究実践のプレゼンテーション			参考書・資料等の復習および予習	
15	〃	まとめ			参考書・資料等の復習	
16	〃	学期末試験は行わない。				